

派遣求人サイト利用者の意識実態

派遣の仕事探しにおいて重視されるものは？

インターネットによる、国内最大級の正社員、派遣、アルバイトの求人・転職情報サイトを運営するディップ株式会社では、自社保有のサイト会員や求職者向けにアンケート調査を行い、多様化するワークスタイルに対する意識の違いや傾向について、隔月で「Dip Report」として発信しています。今回は、「派遣の仕事探し」にフォーカスしてお届けします。

求職者の求人情報選択における判断基準

派遣の仕事探して優先されるのは「仕事内容」「勤務地」「給与」

企業ブランド・イメージの影響力は比較的小さい

(派遣求人サイト利用者に聞くアンケート結果より)

先月、厚生労働省より発表された『派遣労働者実態調査』（調査期間 2004 年 9 月～10 月）によると、平成 16 年 8 月 31 日現在で、派遣社員が就業している事業所の割合は 31.5%、特に規模 500 人以上の事業所では 79.1%と、約 8 割を占めました。また各事業所の、1 年前と比べた派遣社員数の変化をみると、増加した事業所割合は 47.8%に達しています。

このように、派遣社員を雇用している企業は確実に増えていますが、派遣社員を就業させる主な理由をみると、「欠員補充等必要な人員を迅速に確保できるため」74.0%、「一時的・季節的な業務量の変動に対処するため」50.1%と、欠員補充の為という意見が多くなっています。一方、「専門性を活かした人材を活用するため」は 27.6%にとどまり、派遣社員の能力・スキルを重視し、積極的に活用していこうという企業はまだ多いとはいえないようです。

こうした状況の中、「派遣のお仕事」を探している求職者の方々は、どのような意識を持って、何を判断基準としてお仕事を探しているのでしょうか。今回は、派遣求人サイトにおける具体的な仕事情報の検索方法を通して、重視される条件、求められている情報について考察しました。

< 調査項目について >

グラフ 1. 派遣で働く理由は？ ……当社実施「はたらこねっとモニターアンケート<Vol.2> 2004」

グラフ 2. 就業したいと思っている形態を全てお選びください

……当社実施「はたらこねっとモニターアンケート<Vol.6> 2005」

グラフ 3. 派遣会社に登録した(しようとした)際、あなたは何を重視しましたか？

……当社実施「はたらこねっとモニターアンケート<Vol.6> 2005」

グラフ 4. あなたは、自宅近辺 / 地元で働きたいと思いませんか？

……当社実施「はたらこねっとモニターアンケート<Vol.6> 2005」

グラフ 5. 派遣求人サイトで仕事を検索する際、まずどの条件で検索することが多いですか？

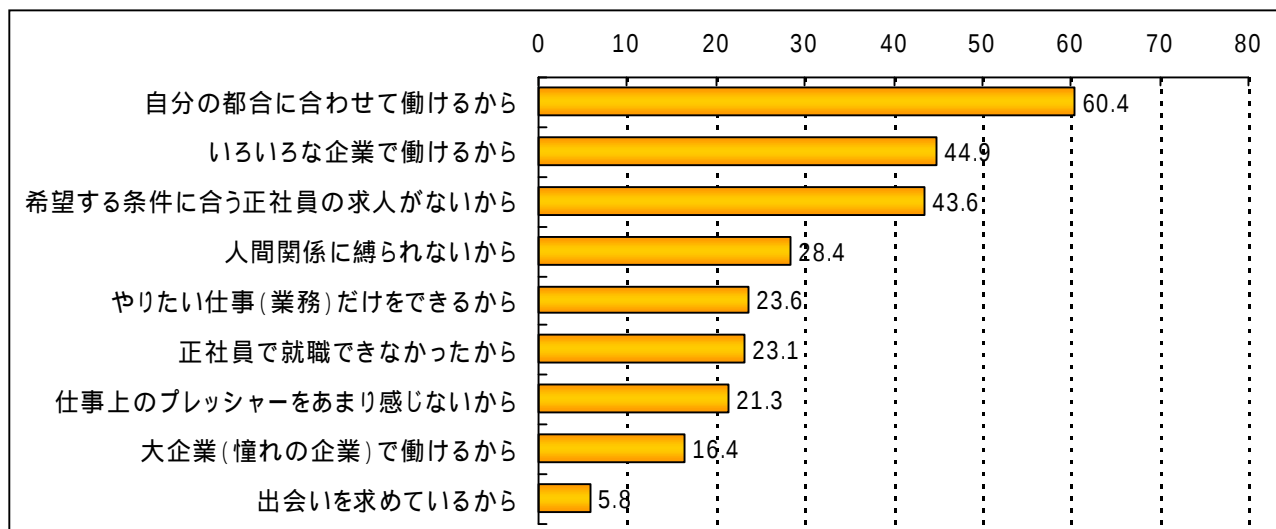
……当社実施「はたらこねっとモニターアンケート<Vol.6> 2005」

グラフ 6. 検索した仕事情報を検討する際、最も重視する情報は何か？

……当社実施「はたらこねっとモニターアンケート<Vol.6> 2005」

まず最初に、「派遣で働く(あるいは働くことを検討している)理由について、以前「Dip Report vol.2」でご紹介したデータを、再度確認したいと思います。

- グラフ1 派遣で働く(働くことを検討している)理由は? (複数回答)

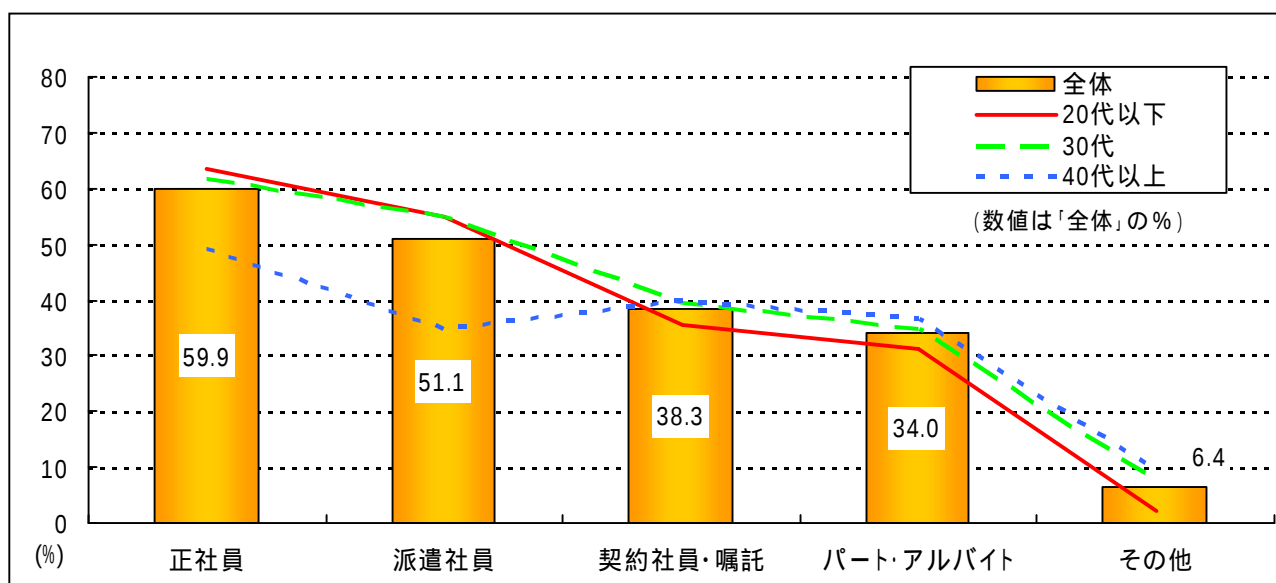


「自分の都合に合わせて働ける」が 60.4%、「いろいろな企業で働ける」が 44.9%と、派遣社員特有の“会社に縛られない自由な働き方”ができるという理由が上位を占めました。同時に「希望する条件に合う正社員の求人がない」43.6%、「正社員で就職できなかった」23.1%と、“本当は正社員として働きたいが…”という意見も目立ちます。

「人間関係に縛られない」「仕事上のプレッシャーをあまり感じない」等、束縛・プレッシャーから逃れられるという理由は20%台、また「大企業(憧れの企業)で働ける」「出会いを求めている」は20%以下で下位にとどまりました。

「本当は正社員として働きたい」人が比較的多くいることがわかりましたが、実際、派遣求人サイト利用者は、「正社員」「派遣社員」また「パート・アルバイト」等、どのような就業形態を最終的に望んでいるのでしょうか。現在、及び将来的なことも含め、希望を聞いてみました。

- グラフ2 就業したいと思っている形態を全てお選びください (複数回答)

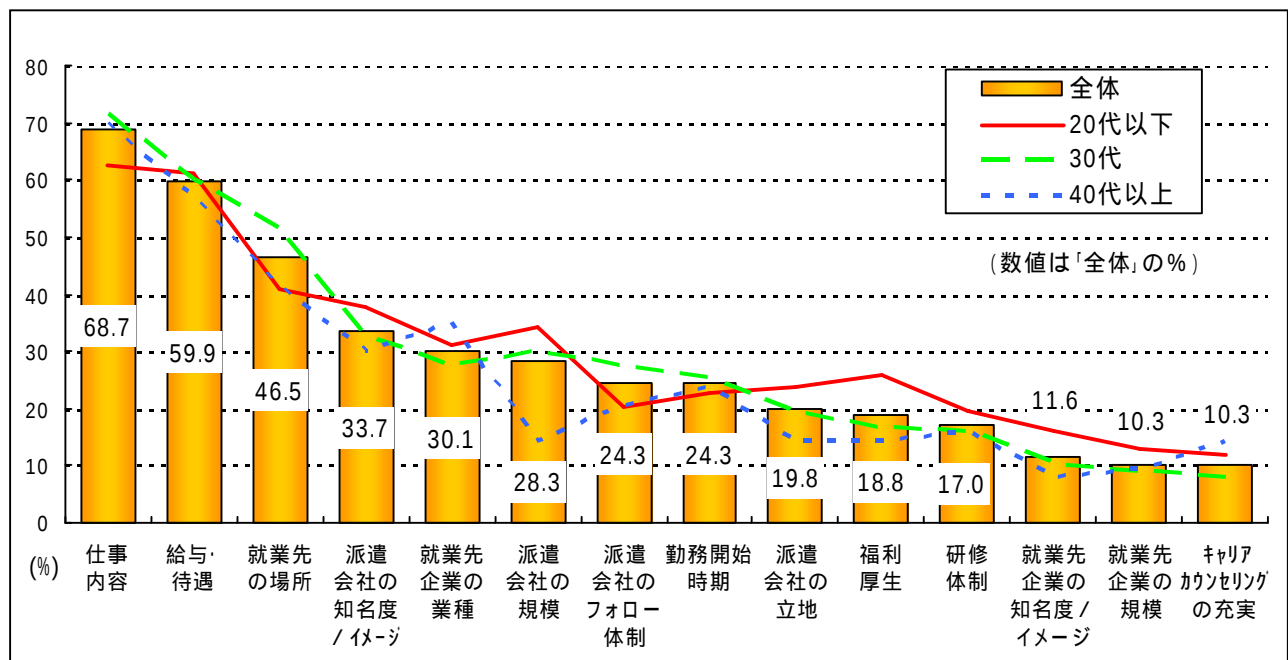


最も多かったのは「正社員」59.9%で、約6割に達しました。以下「派遣社員」51.1%、「契約社員・嘱託」38.3%、「パート・アルバイト」34.0%と続きます。

このアンケートの回答者は派遣求人サイトを利用している方々ですが、「派遣社員」を希望しているのは約半数にとどまり、「正社員」希望者がそれを上回るという結果になりました。これは、上述したように派遣社員志望者には「本当は正社員志望」の人が多く含まれていることが大きな要因になっていると思われます。また1つには「ワークスタイルにとらわれない」求職者が、多く派遣求人サイトを利用していることも考えられます。ともあれ、「派遣求人サイト」を利用する人たちは、最終的には「正社員」を志望している人が多いということ、「派遣」という雇用形態、特にその自由さ等へのこだわりが強い人ばかりではないということが言えるでしょう。

それでは以上を踏まえて、実際に求職者の「派遣のお仕事」の探し方を検証していきたいと思います。まず、派遣会社への登録について考えてみましょう。

- グラフ3 派遣会社に登録した(しようとした)際、あなたは何を重視しましたか？(複数回答)



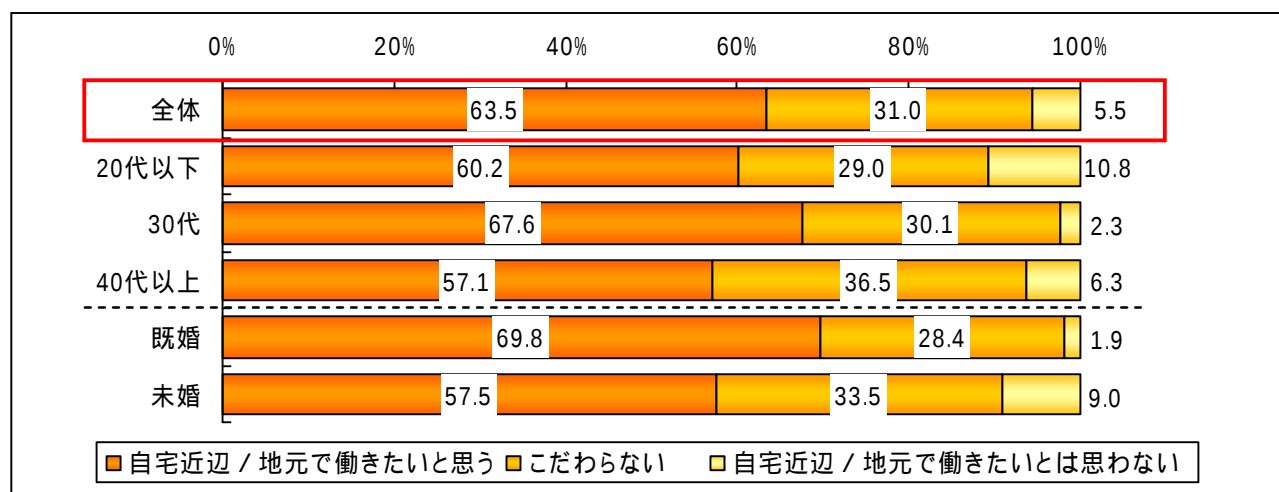
派遣会社登録時に重視した点は、「仕事内容」が68.7%で最も多く、次いで「給与・待遇」が59.9%と、この2項目が50%を超えました。以下「就業先の場所」46.5%、「派遣会社の知名度・イメージ」33.7%、「就業先企業の業種」30.1%と続きます。

実際の業務内容(「仕事内容」)、また勤務条件に関連する項目(「給与・待遇」「就業先の場所」)をあげた人が多く、派遣会社や就業先企業のイメージ・ブランド力に関する項目を上回りました。また「派遣会社のフォロー体制」(24.3%)、「福利厚生」(18.8%)、「研修体制」(17.0%)、「キャリアカウンセリングの充実」(10.3%)といった項目は比較的下位にとどまっており、福利厚生・カウンセリング等のフォロー面に関する項目は、派遣会社登録の時点では求職者の意識を強く引きつけていないことがうかがえます。

年代別の傾向をみると、20代以下では「仕事内容」の割合が30代以上より低く、「給与・待遇」とほぼ同じ割合になっています。また「派遣会社の知名度・イメージ」「就業先の知名度・イメージ」「就業先の規模」が上の年代よりも比較的高くなっています。若い世代では、仕事の内実より、企業の知名度やイメージへのこだわりが強くなる傾向があると言えるでしょう。また30代は「就業先の場所」が多く、40代以上は「派遣会社の規模」が少なくなっているのが目立ちます。

「就業先の場所」が、派遣会社登録の上で比較的重視する人が多い(特に30代)ことがわかりましたが、具体的にはどのような希望を持っているのでしょうか。「自宅近辺/地元」で働きたいと思っている人の割合を調べました。

- グラフ4 あなたは、自宅近辺 / 地元で働きたいと思いますか？

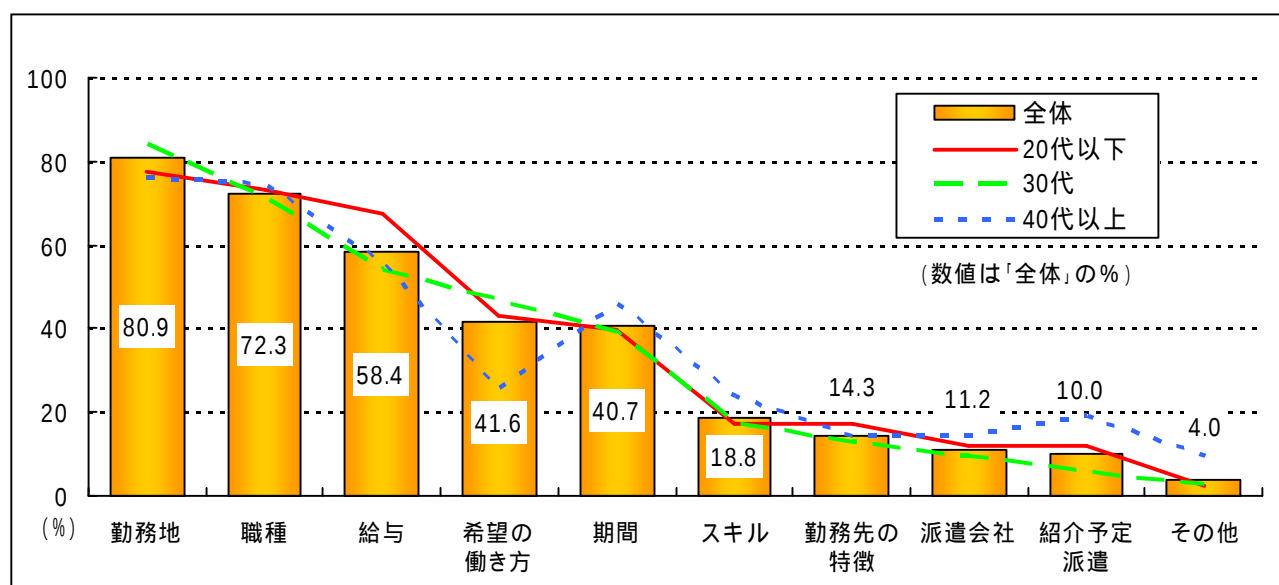


全体では 63.5%が「自宅近辺 / 地元で働きたい」と回答し、全体の3分の2に近い割合を占めました。

年代による傾向をみると、30代における地元勤務意向者は67.6%で他の年代より割合が高くなりました。また既婚者と未婚者を比べると既婚者が 69.8%で未婚者を上回っています。30代・既婚という条件から、子育て等の家庭事情が「就業先の場所」重視に影響していることが推測され、こうした要素も「派遣」の仕事選びにおけるポイントになっていることがわかります。

次に、派遣求人サイトでお仕事を検索する際に利用される「条件」について検証します。

- グラフ5 派遣求人サイトで仕事を検索する際、まずどの条件で検索することが多いですか？(複数回答)



まず利用される検索条件としては、「勤務地」が最も多く 80.9%。以下「職種」(72.3%)、「給与」(58.4%)が5割を超えました。以下「希望の働き方」(交通費別途支給) [残業なし] [未経験 OK] [経験者優遇]等、業務・勤務条件の特徴」が 41.6%、「期間」が 40.7%で続いています。

「職種」=「仕事内容」と考えれば、派遣会社登録時の重視点とほぼ同様の項目が上位を占めました。ただ検索条件としては、「勤務地」を真っ先に利用する人が多いことがわかります。特に「勤務地」は30代において多く、派遣会社登録時の重視点や地元勤務志向と同様の傾向を示しています。

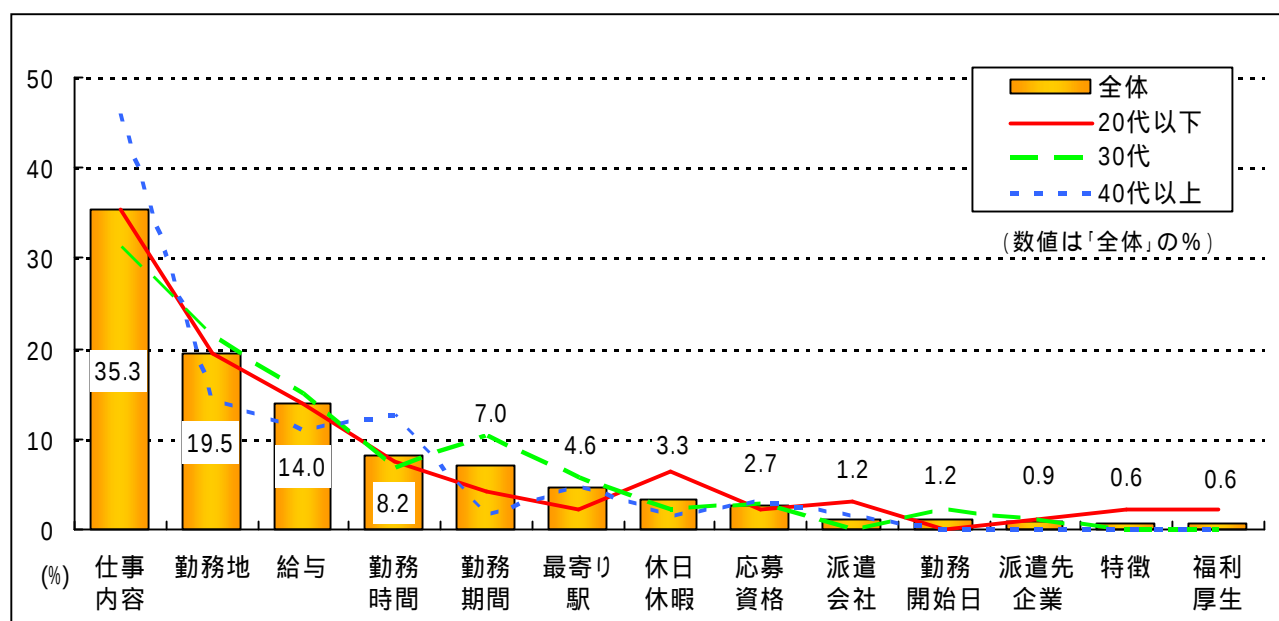
「勤務先の特徴」(外資系企業) [大手企業]等)、「派遣会社」はいずれも 20%以下で、ここでも企業については

あまり重視されていないようです。

「給与」は20代以下の割合が高いが目立ちます。また「希望の働き方」は40代以上が目立って少なくなっており、年代があがることにより対象となる仕事件数が減少するため、希望条件にあまりこだわらなくなるという傾向が推測されます。

それでは、検索したお仕事情報を検討する際に最も重視する点について考えましょう。

- グラフ6 検索した仕事情報を検討する際、最も重視する情報は何か？



最も重視する情報を1つに絞って聞いたところ、「仕事内容」が35.3%で最も多くなりました。以下「勤務地」19.5%、「給与」14.0%、「勤務時間」8.2%、と続きます。ここでもやはり、上位3項目は内容が変わりませんでした。ただ検索条件と違い、「仕事内容」がトップになっています。特に40代以上における割合が高く、「勤務地」と約30ポイント差がついているのが目立ちます。

「派遣会社」は1.2%、「派遣先企業」は0.9%にとどまっています。仕事情報を検討する場合においても、やはり企業のブランド力やイメージは、直接にはあまり重視されていません。

その他年代別の傾向としては、40代以上における「勤務時間」、30代における「勤務期間」、20代における「休日・休暇」が、それぞれ割合が大きくなりました。

「派遣会社登録」、「仕事情報検索」、「仕事情報検討」と、3つのシーンにおける求職者の重視ポイントは、「仕事内容(職種)」、「勤務地(就業先の場所)」、「給与」の3点で、ほぼ共通していることがわかりました。

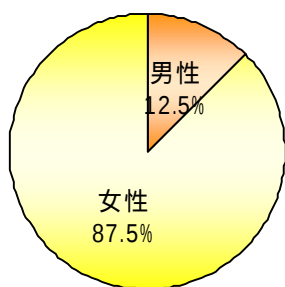
「派遣で働く理由」で述べた通り、「派遣のお仕事」といっても、人間関係や業務におけるプレッシャーなど束縛からの解放や、また「憧れの企業で働ける」といった企業ブランドに惹かれて、といった種類の動機から志望する人は少数派です。上記3シーンの検証により、あくまで自分が実際に携わる「仕事内容」が重視され、その他家庭環境等の条件により、就業場所や給与が影響する、という構図が見えてきました。また年代による傾向の違い、年代が高くなるほど仕事内容が重視され、また30代で就業場所が最も重視されるという傾向も明確になりました。

派遣社員を雇用する企業が年々増え、その活躍の場も着実に広がっていますが、企業の派遣社員活用状況はまだ十分求職者の要望を満たしているとはいえません。そうした中で、今後さらに、量より質的に、充実した情報が求められるようになるでしょう。弊社サイトにおいても、真にユーザーの方々が求める情報を提供していくことができるよう、一層の努力をしていきたいと思います。

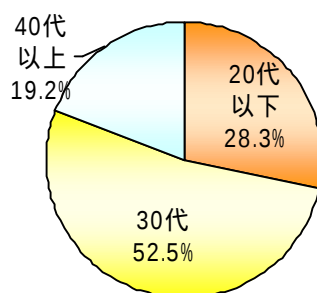
< 求人媒体利用調査の概要 >

1. アンケート方法 : メール配信の告知によるインターネットアンケート
2. 対象 : 派遣情報サイト「はたらこねっと」モニター会員
3. アンケート期間 : 2005 年 8 月 10 日 ~ 8 月 16 日
4. 有効回答者数 : 329 人

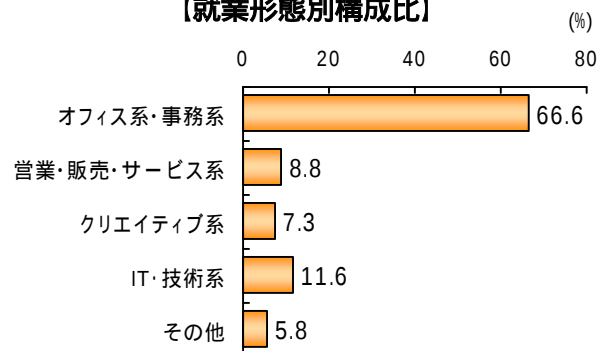
【男女比】



【年代別構成比】



【就業形態別構成比】



Dip Report で得た情報、集計結果を第三者に公開する場合には下記の表示をお願いいたします。
『総合求人情報サービスを行うディップ株式会社が発表した Dip Report による』

Dip Report のデータをホームページでアップしております。詳しくは下記 URL でご確認ください。
<http://www.dip-net.co.jp/news/trend.php>

ディップ株式会社 会社概要 URL: <http://www.dip-net.co.jp/>

本社所在地: 〒106-6032 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー 32F

設立: 1997 年 3 月

代表者: 富田 英揮 (代表取締役社長)

資本金: 10 億 7,149 万円

従業員数: 316 名 (2005 年 8 月末現在の正社員数 除 役員)

事業内容: インターネットによる求人・求職情報提供サービス

2004 年 5 月東証マザーズ市場へ株式を上場

< この報道資料のお問い合わせ先 >

ディップ株式会社 広報担当 : 眞野 玲子、大野 恭子

TEL 03-5114-1286 / e-mail : info@dip-net.co.jp